

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあいLPコート・被覆塩加入り窒素加里複合44号
別名 ; ソフトNK44ゴウ
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 耕種資材部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 ; 03-6271-8285
FAX番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 ; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品のGHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	酸化性固体	: 区分に該当しない
	金属腐食性物質	: 区分に該当しない
	急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	: 分類できない
	急性毒性（吸入）	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分に該当しない

製品安全データシート

整理番号：jcam-6033
改定日：2021年4月13日

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分に該当しない
	誤えん有害性	: 分類できない
	水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き

- 【安全対策】 保護眼鏡、保護手袋を着用すること。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。
- 【救急処置】 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- 【保管】 容器を密閉して保管すること。
- 【廃棄】 製品又は容器を廃棄する場合は、国及び地方自治体の規則に従うこと。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 指定配合肥料

主成分		含有量※1) (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
LP コート	尿素	45～55	(NH ₂) ₂ CO	2-1732	57-13-6
	樹脂組成物※2)	10 未満	—	—	—
被覆塩化加里	塩化カリウム	35～40	KCl	1-228	7447-40-7
	樹脂組成物※2)	10 未満	—	—	—
シリカヒューム		10 未満	SiO ₂	—	69012-64-2
ホワイトカーボン		10 未満	SiO ₂	—	112926-00-8

※1) 含有量は代表的な分析値であり、若干の幅で変動する。

※2) ポリエチレン、ポリエチレン系樹脂、その他

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
該当なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
該当なし

4 応急措置

吸入した場合	: 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 水で洗い流す。
眼に入った場合	: 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。 2. 必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

適切な消火剤	: 多量の水
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特定の消火方法	: 本製品は不燃性であるが、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動が困難な時は、周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。 風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 排水溝へ流さない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 発散した粉じんを吸いこまないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
接触回避	: 可燃性物質との近接は避ける。
安全取扱注意事項	: 1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。

保管	2. 容器は破損につながらないように丁寧に扱う。
安全な保管条件	: 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。 2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。 3. 可燃性物質との近接は避ける。
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度	: 設定なし。
許容濃度	: 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。 日本産業衛生学会勧告値 (2020 年) 第 3 種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム手袋
目の保護具	: ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具	: 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体
色	: 灰白色
臭い	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
pH	: データなし
溶解度	
溶解性 (水)	: 可溶
(その他の溶媒)	: エタノールに難溶
蒸気圧	: データなし
密度	: データなし
粒子特性	: 粒径範囲 1~4mm
その他のデータ	
かさ比重	: 約 1.0

10 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の手扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温、多湿
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

1.1 有害性情報

急性毒性（経口）

: 区分に該当しない

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>

ラット LD₅₀ ♂14,300mg/kg ♀15,000mg/kgマウス LD₅₀ ♂11,500mg/kg ♀13,000mg/kg

<塩化カリウム>

ラット LD₅₀ 3,020mg/kg (SIDS)

以上のデータより、区分に該当しないとした。

急性毒性（経皮）

: 分類できない データなし

急性毒性（吸入）

: 分類できない データなし

皮膚腐食性/刺激性

: 分類できない

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>

ヒトの試験では 7.5% で Slight irritation、30% で moderate との報告がある(48 時間)。

ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。

ウサギの試験では刺激性は認められていない。

上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性

: 分類できない

/眼刺激性

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>

ICSC では眼に対し発赤と記載されている。

ウサギの試験では刺激性は認められていない。

<塩化カリウム>

ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS)

ウサギの眼刺激試験で、適用 24 時間後の観察で "mild reaction" と評価されている (JETOC 推定)

上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。

呼吸器感作性

: 分類できない データなし

皮膚感作性

: 分類できない データなし

生殖細胞変異原性

: 分類できない データなし

発がん性

: 分類できない データなし

生殖毒性

: 分類できない データなし

特定標的臓器毒性

: 区分に該当しない

(単回ばく露)

構成成分である下記物質について次のような有害性情報がある。

<シリカヒューム>

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	本物質は気道刺激性があるとの報告 (ACGIH (7th, 2001)、ECETOC JACC (2006)) から、区分 3 (気道刺激性) とした。 上記構成成分が区分 3 であり、成分濃度が 20%以下であることから、区分に該当しないとした。 :区分に該当しない 構成成分である下記物質について次のような有害性情報がある。 <シリカヒューム> ヒトにおいて、慢性あるいは反復の吸入ばく露により珪肺症 と同様なレントゲン所見を伴った金属ヒューム熱のような回帰性熱を起こす。しかし、肺の変化は自然に回復することが報告されている (ACGIH (7th, 2001))。 実験動物において、ラット、モルモット、サルに 15 mg/m ³ (0.015 mg/L) を 12~18 ヶ月間吸入ばく露した試験で、いずれの動物種においても肺の単核細胞の集合体の増加、細網線維がみられ、さらにサルでは膠原線維がみられている (DFGOT vol. 2 (1991))。以上のようにヒトにおいて呼吸器への影響がみられ、また、実験動物、特にサルにおいて区分 1 の範囲で肺に膠原線維がみられている。 構成成分が成分濃度 1.0%未満であることから、区分に該当しないとした。 誤えん有害性 :分類できない データなし
---------------------	---

1 2 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	:分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <塩化カリウム> ササノハ珪藻 EC ₅₀ 1,337mg/L/120hr (SIDS) オオミジンコ EC ₅₀ 660mg/L/48H (SIDS)
水生環境有害性 長期 (慢性)	:分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <塩化カリウム> オオミジンコ EC ₅₀ 130mg/L/21d (SIDS)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りの JA にお問い合わせ下さい。

オゾン層への有害性 : データなし

[ポリエチレン (合成高分子)]

海洋環境有害性 : HME に該当する

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない (不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する)。

1 4 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 該当なし

品名 : 該当なし

国連分類 : 該当なし

容器等級 : 該当なし

IMDG (国際海上危険物規則) : 該当なし

ICAO-TI (国際民間航空機関技術指針) : 該当なし

／IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則)

国内規制 : 下記の法令に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。

船舶安全法, 航空法, 湾則法

輸送の特定の安全対策及び条件 : 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。
2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1 5 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律 : 指定配合肥料

消防法

: 該当しない

労働安全衛生法

粉じん則

: 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。
粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

船舶安全法

: 該当しない

航空法

: 該当しない

湾則法

: 該当しない

化学物質排出把握管理促進法

: 該当しない

1 6 その他の情報

1) 本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成して

製品安全データシート

整理番号 : jcam-6033
改定日 : 2021 年 4 月 13 日

おり、新しい知見により改訂されることがあります。

2)本文中の注意事項は通常の取扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

3)当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

4)本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。

- ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
- ・当社原料メーカーから入手した原料 SDS
- ・JISZ7252:2019「GHS に基づく化学品の分類方法」
- ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ; 生産管理本部
住所 ; 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ; 03-5297-8904
F A X 番号 ; 03-5297-8908
緊急連絡先 ; 水俣工場
電話番号 ; 0966-63-2235